

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 1月 22日

事業所名 ふれんず広田町

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用定員に対し適切な広さは確保できているが、人数が多い時には狭さを感じる場合がある。学習とクールダウンを行う部屋が同じ為、場合によっては不便を感じる。	運動あそび時には子どもたちがケガをしないように、安全面に配慮します。また、必要に応じてクールダウンできる環境を作ります。
	2	職員の配置数は適切である	○		人員配置基準は満たしている。送迎時に室内の職員が少なくなることがある。	従来どおり、利用人数、送迎に応じて必要な職員数を配置します。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		一日の予定、送迎の配車表、プログラムなどを視覚的に分かりやすく掲示している。改善をする余地は残っている為、今後も工夫が必要。	必要に応じて対応してまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日の終礼時に当日の活動や業務の報告、振り返りを行っている。	従来どおり対応してまいります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修には全員が参加している。外部への研修に参加できる機会も設けている。	全職員が積極的に参加できるようにしていきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメントを行い、職員の意見を取り入れている。それを元に児童発達支援管理責任者が分析し、計画書を作成している。	適切なアセスメントができるように、職員間で情報を共有してまいります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフミーティングや毎日の打ち合わせなどで意見を出し合っている。	各職員がより良い活動を目指し、積極的にプログラム立案をおこなってまいります。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月ごとに外出や創作などの行事を取り入れている。トランポリンや跳び箱、ボルダリングの活動では複数のプログラムを組み合わせて行っている。	各職員がより良い活動を目指し、積極的にプログラム立案をおこなってまいります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		学校終了後に行うことができる活動内容、学校休日に行うことができる活動内容を考慮し決めている。	従来どおりきめ細やかに対応してまいります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別活動、集団活動それぞれの目標を計画書に記載している。	従来どおり対応してまいります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前に送迎、活動プログラム、担当割り振りなどの打ち合わせを行っている。役割分担はその場その場で行われている。	従来どおり実施いたします。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後に終礼にて、保護者からの申し送り事項、活動の振り返り、業務連絡などを行っている。業務日誌に記入し、全職員で情報を共有している。	従来どおり実施いたします。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の活動の様子や支援を個人記録に記載し、課題などについては終礼時に話し合う機会を作っている。個人記録については職員によって書き方の差がある。	継続して実施してまいります。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		毎月作成している支援経過記録を元に、半年ごとにモニタリングを実施し、保護者面談を行ったうえで個別支援計画書の見直しを行っている。	従来どおり対応してまいります。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が本人中心支援会議に出席している。	従来どおり対応してまいります。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		対象者なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要に応じて本人中心支援会議等で情報共有を行う。	今後も必要に応じ、連携をとってまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		まだ対象者がいない。	今後、必要に応じて連携をとってまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		今のところ直接支援に関する問い合わせ等は行っていない。	職員の資質向上のために、今後専門機関と連携し、研修を実施する予定です。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		不定期ではあるが、児童館や地域の公園あそびなどで関わる機会はあるがそれを意図的に行う機会はない。	児童館や地域の公園あそびを行う際には、毎月発行している予定表でお知らせいたします。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や保護者面談時に様子や課題について伝え合っている。	従来どおり対応してまいります。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		現段階では行うことができていないが、今後は保護者支援も行っていきたい。	今後は外部の専門機関と連携し、保護者向けの講演会等が開催できるように検討します。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明をしている。	従来どおり対応してまいります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時や保護者面談時、または連絡帳に記載する、電話をするなどの方法で助言を行っている。	従来どおり対応してまいります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者会を開催している。	定期的に開催し、多くの方に参加していただけるよう企画してまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情・要望受付書を作成し、迅速に対応する。終礼時に職員間で情報共有し、改善策を話し合う。	従来どおり対応してまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月行事予定表を作成し、配布している。また、ホームページ・ツイッターを通じて活動の様子を発信している。	従来どおり対応してまいります。
	35	個人情報に十分注意している	○		契約時に保護者への説明を行っている。個人情報に関わる書類は鍵付きの保管庫で管理している。守秘義務に関しては職員の入社時に説明を行っている。	従来どおり対応してまいります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		絵カードや写真など視覚的支援を行い、理解しやすいように配慮している。また、集団での指示が理解しがたいときには個別に説明を	従来どおり対応してまいります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		今のところ行うことができていないが、今後は交流の機会を作っていきたい。	事業所運営の理解を深めてもらうためにも、交流の機会を検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアル等は策定しているが、職員や保護者への周知が未だ徹底できていない。	必要に応じてマニュアルの見直し、検討をしてまいります。職員や保護者への周知も継続して行ってまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難訓練を年二回行っている。	安全に避難できるよう定期的に訓練を行い、非常時への備えに努めてまいります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		社内研修や外部での研修にて虐待に関する研修を受講した。	従来どおり対応してまいります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現段階では記載はしていない。今後必要なケースにおいて保護者への説明、記載を行っていく。	必要に応じて適宜対応してまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時にフェイスシートへ保護者に記入してもらっている。今後は特に対応が必要な場合には、保護者を通じて指示書の提出をお願い	必要に応じて適宜対応してまいります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットの事案件数が少ないが作成は行っており、事業所内での共有もできている。	継続して行い、今後も情報共有、対策をとってまいります。